

## (資料 7) IFOAM PGS ロゴの使用について



IFOAM PGS ロゴの使用について



### 背景

このロゴの背景にある考えは世界中の PGS プログラムの一体感を促進するところにある。また IFOAM という傘のもとで実践と一つの取り組み方で実現する一つのコミュニティーに属しているという意識を醸成することを狙いとしている。

ロゴは 2010 年にブータンでの 2010 年会議で IFOAM PGS 委員会によって立てられた戦略的計画の実施の一環としてデザインされたものである。

IFOAM の理事会はロゴを 2011 年 2 月に認定した。

### 手続き

このロゴの使用は PGS グループによる品質検査による。IFOAM はロゴの使用を正式に認められたすべての PGS グループが IFOAM PGS 委員会の評価をパスすると許可される。

この評価は主に改定され、編集された IFOAM PGS SELF-EVALUATION (SEF) と PGS グループの申請者から提出された他の資料および、SEF のデータをサポートする書類によって行われる。

この改定はそれぞれのグループが PGS の 6 つの基本要素を満足しているかで決まる。

### 正式の承認とロゴを使うための前提条件

- a. IFOAM メンバー資格をもっていること
- b. PGS 申請者によって採用されている標準は IFOAM の Family Standards (JAS も含まれている) であること。

### 正式認定の維持に対する前提条件とロゴの使用

IFOAM 正式に認定された PGS グループはロゴの使用をホームページ、チラシや名刺、レターヘッドバナーに対して認められるが、有機農産物に直接張ることはできない。

PGS グループとしての地位を維持するために PGS グループは SEF の改訂版を提出し、早急に IFOAM PGS CORDINATOR に以前に提出した SEF の如何なる変更も通知しなければならない。

オーガニック雫石 PGS グループのロゴは有機生産物に直接貼ることも含め、いかなる目的の為にも使用できるが、毎年オーガニック雫石 PGS 申請書様式を提出しオーガニック雫石 PGS 農場調査をパスしなければならない。